

# 令和7年度 やまなし国際保育推進事業

## 交流会・相談会 実施報告書

山梨県（以下、「県」という。）では、乳幼児期から国籍や民族等の違いに触れ、互いに尊重する心を育てていく「国際保育」を推進しております。

こうした中、令和7年度、県では、県内保育所等に通う日本人・外国人保護者の交流を通じて、山梨県で暮らす全ての親子が安心して子育てできる環境の整備を図るため、県内保育所や「国際保育」の推進に寄与する交流会・相談会を県内保育所等と連携し開催しました。

この度、本県の「国際保育」推進に向け、次のとおり当該交流会・相談会の企画や当日運営などの概要をまとめましたので、日々の活動の一助としていただければ幸いです。

### ◎ 交流会・相談会①\_田富第三保育園（令和7年8月23日実施）

#### 1. 事前準備の流れ

##### ① 企画立案（打合せ）

日付	出席者	内容
2025.6.24	県職員2名 市職員2名 園職員2名 運営事業者1名	■県・運営事業者から市・園関係者に対して主旨を説明 ■主旨説明の上、実施の方向性で合意 ■別途、具体的な企画内容に係る打合せを設けることで合意 ■園職員からお菓子作りが難しい旨、交流会は室内で行いたい旨の意見が挙げられた ■相談会は個人情報を含むので実施方法は検討事項とした
2025.6.30	県職員2名 市職員1名 園職員2名 運営事業者2名	■日程は、8月23日（土）で決定 ■主な対象は、2歳児にすることとした ■内容は、朝の会、塗り絵、歌、遊び等を行うこととした ■運営事業者によりチラシを作成することとした ■外国人親子が在籍する他園と連携し、15組の参加を目標とすることとした
2025.8.8	園職員2名 運営事業者2名	■内容は、朝の会・自己紹介、ダンス、団扇づくり、相談の受付、アンケートで決定

##### ② 関係者調整

- 外国人支援団体・他園との連携：小規模保育園みんなのいばしょ（中央市）との連携
- 役割分担：各園で発表内容を検討・準備

##### ③ 参加者募集・案内

- 親子への呼びかけ：概要チラシをもとに保護者へ案内

##### ④ 資材準備

- 団扇づくりに係る工作材料（無地の団扇・装飾用の紙等）：田富第3保育園で準備
- ダンスに係る音楽機材（スピーカー等）：田富第3保育園で準備
- 交流会に必要な机：田富第3保育園で準備

## 2. 当日の企画概要

9時00分	: 関係者集合
9時30分～10時00分	: 朝の会（自己紹介）
10時00分～10時45分	: 団扇づくり、ダンス
10時45分～11時30分	: 日本人親子・外国人親子の交流会、アンケート記入
11時30分	: 終了

## 3. 当日の流れ

① 開会式（やさしい日本語+通訳）

② 朝の会（自己紹介）※ 田富第3保育園→みんなのいばしょ の順で発表



③ 団扇づくり（親子で会話しながら）



④ ダンス（ブラジルで有名な子ども向けの音楽に合わせた身体活動）



⑤ 日本人親子・外国人親子交流会（ブラジルのおやつを食べながら）



⑥ アンケート記入

- アンケート配布
- 運営事業者による巡回・フォロー

⑦ 閉会

- 記念撮影（保護者同意の上）
- アンケート回収

#### 4. アンケート結果

##### 🌸 保護者（ほごしゃ）むけ アンケート（集計結果）

#### 【1】 あなたのことを おしえてください

- ・どこに すんでいますか？（市（し）・町（まち）・村（むら）など）  
（回答）中央市：9 昭和町：1 南アルプス市：1 市川三郷町：1
- ・お子（こ）さんは なんさいですか？  
（回答）2歳：6 3歳：5 4歳：1 5歳：1 6歳：1
- ・おうちで つかっている ことばは なんですか？（いくつでも えらんでください）  
（回答）日本語：7 ポルトガル語：8

#### 【2】 交流会（こうりゅうかい）について

- ・交流会（こうりゅうかい）は たのしかったですか？  
（回答）とても たのしかったです：11 たのしかったです：2
- ・ほかの おやの かたと はなすことが できましたか？  
（回答）よく はなせました：3 すこし はなせました：8  
あまり はなせませんでした：1 はなせませんでした：1
- ・お子（こ）さんは たのしんでいましたか？  
（回答）はい：12
- ・外国（がいこく）の ぶんかを しる いい きかいでしたか？  
（回答）はい：12
- ・おもしろかった あそびが あれば おしえてください。  
（回答）ダンス：4 団扇づくり：4
- ・ほいくえんや こどもえんで、外国（がいこく）の あそびや ぶんかを つかってほしいと おもいますか？  
（回答）はい：11
- ・また、このような 交流会（こうりゅうかい）に さんかしたいですか？  
（回答）はい：13

#### 【3】 相談会（そうだんかい）について

- ・こまっていることを はなすことが できましたか？  
（回答）はい：11 いいえ：4
- ・ほかの おやの かたと はなして よかったですか？  
（回答）はい：11
- ・また 相談会（そうだんかい）が あれば さんかしたいですか？  
（回答）はい：9

#### 【4】 困（こま）っていること、助（たす）かっていることについて

- ・ひごろ、園（えん）についてこまっていることがあれば、おしえてください。  
（回答）はしゃぎすぎること：1 なし：5
- ・ひごろ、園（えん）のとりくみやたいおうで、たすかっていることがあれば、おしえてください。  
（回答）沢山お話を聞けて良かった

## 保育士・園関係者向けアンケート（集計結果）

### 【1】基本情報

- ・ご担当された役割をお知らせください（例：進行役、相談対応など）。

（回答）進行役：2 朝の会：2 サポート役：5

- ・保育士としてのご経験年数をお知らせください。

（回答）1年：2 7年：1 9年：1 10年：2 20年以上：3

### 【2】交流会について

- ・交流会は円滑に行えましたか？

（回答）非常に円滑だった：5 おおむね円滑だった：3 普通だった：2

- ・実施した内容は、貴園独自でも再現可能だと思いますか？

（回答）実施できると思う：9 一部なら実施できると思う：1

- ・参加者の反応は良好でしたか？

（回答）はい：9 わからない：1

- ・実施に当たり、負担を感じましたか？

（回答）まったく感じなかった：5 少し感じた：5

- ・他の園でも同様の交流会を実施できる内容だと思いますか？

（回答）実施できると思う：6 一部なら実施できると思う：4

- ・印象に残った活動や工夫があればご記入ください（自由記述）。

（回答）外国のダンス：2 見てまねようとする努力：1 日本人/外国人一緒に踊っていた：1  
各国の特徴が出ていた：1 異文化を知るきっかけが随所に見られた：1

### 【3】相談会について

- ・外国人保護者の相談内容は理解しやすかったですか？

（回答）理解しやすかった：5 普通だった：2

- ・相談形式は効果的だと感じましたか？

（回答）とても効果的だった：3 効果的だった：3 わからない：1

- ・専門機関への紹介が必要と感じたケースはありましたか？

（回答）はい：1 いいえ：6

- ・保護者の満足度は高かったと感じましたか？

（回答）はい：8 わからない：1

### 【4】今後について

- ・今後、園で外国の遊びや文化などを取り入れた保育活動を実施したいと思いますか？

（回答）はい：9 わからない：1

### 【5】日頃の園の状況について

- ・園では、外国にルーツを持つ子どもや保護者への対応に課題を感じていますか？

（回答）大きな課題があると感じている：3 一部に課題があると感じている：4  
特に課題は感じていない：1 言語の壁がある：4

- ・多文化や国際理解に関する研修等の機会があれば、参加したいと思いますか？

（回答）はい：6 わからない：3

### 【6】その他、自治体に望む支援や取り組みなど、何かあれば自由に記入してください。

（回答）県域での文化交流／社会参加促進／外国人向け情報の簡素化／児童部門における支援の強化／  
公立保育園に対する外国籍職員・通訳人材の育成支援等

## 5. 振り返り

参加者：園児 22 名（田富第 3 保育園：8 名 みんなのいばしょ：14 名）※保護者等含め合計 60 名程度

今回が初めての交流会・相談会であったため、当初はどのような雰囲気になるのか戸惑いの気持ちを少し抱えながらの開始となった。しかし、当日はまず外国人保護者が先に到着し、自然と同じ場所に集まって着席する様子が見られた。交流会冒頭から子どもたちが前に出て活動し、その周囲を保護者が取り囲む形となり、穏やかな雰囲気の中で始まった。

団扇づくりの時間になると、日本人保護者と外国人保護者が左右に分かれて座り、当初は双方の間で大きな交流が生まれにくい状況であった。そこで進行役から「日本人保護者のテーブルに一步近づいてみましょう」と声かけを行ったところ、外国人保護者が日本人保護者のテーブルへ移動し、同じ机を囲む形にはなったものの、仲介するスタッフがなければ会話が続きにくい様子も見られた。着席は近くても、互いに遠慮があり、作業中はそれぞれが自分のスペースで取り組んでいるような状況であった。

しかし、作品を一人ずつ紹介する場面になると、互いの作品に対する笑いや拍手が自然と生まれ、会場全体に温かい空気が広がった。また、その後のダンスの時間には、言語に関わらず身体を使って触れ合うことができ、子どもたちだけでなく職員も含め、自然な交流が深まったことが感じられた。

相談会の時間には、外国人保護者がブラジルの食べ物を持参し、日本人保護者に紹介した。多くの日本人保護者からは「スーパーで見たことはあるが、味がわからず買うのをためらっていた」「実際に食べてみておいしかったので、家でも作ってみたい」といった声が寄せられ、食を通じた文化交流が大きな関心を集めた。実際に手に取って味わうことで、食文化を理解する機会となり、家庭でも取り入れてみたいという前向きな意欲が生まれたことは大きな成果であった。

初めての開催であったにもかかわらず、交流会（子どもたちの活動、作品紹介、ダンス、そしてブラジル文化の紹介等）を通して、国籍や言語の違いを超えた交流が少しずつ形になり、異文化理解が深まる貴重な機会となった。今後は、より自然に交流が生まれる席配置や、会話をサポートするスタッフの配置、交流を促す仕掛けづくりなどを検討しながら、山梨県で暮らす全ての親子が安心して子育てできる環境の整備を引き続き進めていきたい。

### ★記念写真



## ◎ 交流会・相談会②\_あんふあんワールド（令和7年9月20日実施）

### 1. 事前準備の流れ

#### ① 企画立案（打合せ）

日付	出席者	内容
2025. 6. 25	県職員 2 名 施設関係者 1 名 運営事業者 1 名	■ 県・運営事業者から施設関係者に対して主旨を説明 ■ 主旨説明の上、実施の方向性で合意 ■ 別途、日時・企画内容等に係る打合せを設けることで合意 ■ 施設関係者より、内容についてベビーマッサージや外国の遊び等も一案である旨の意見が挙がった
2025. 7. 3	県職員 2 名 施設関係者 1 名 運営事業者 2 名 ※オンライン	■ 日程は、9月20日（土）で決定 ■ 内容は、朝の会やリトミック等とすることで合意 ■ 別途、最終的な確認を行うための打合せを行うこととした ■ 外国人親子が在籍する他園と連携し、15組の参加を目標とすることとした
2025. 8. 27	施設関係者 1 名 連携園職員 2 名 運営事業者 1 名	■ 施設関係者と連携園職員との顔合わせを実施 ■ 連携園職員による施設見学と当日に向けた内容の最終確認に係る打合せを実施

#### ② 関係者調整

- 外国人支援団体・他園との連携：小規模保育園イノヴェ学園（南アルプス市）との連携
- 役割分担：各園で発表内容を検討・準備

#### ③ 参加者募集・案内

- 親子への呼びかけ：概要チラシをもとに保護者へ案内

#### ④ 資材準備

- リトミック関係（キーボード・マイク・太鼓等）：あんふあんワールドで準備
- 音楽機材（スピーカー等）：各園で準備
- 交流会に必要な机：あんふあんワールドで準備

### 2. 当日の企画概要

9時00分	：関係者集合
9時30分～10時00分	：朝の会（自己紹介）
10時00分～11時00分	：リトミック教室、ダンス、太鼓づくり・演奏
11時00分～11時30分	：日本人親子・外国人親子の交流会、アンケート記入
11時30分	：終了

### 3. 当日の流れ

① 開会式（やさしい日本語+通訳）

② 朝の会（自己紹介）※ イノヴェ学園→あんふあんワールド利用者 の順で発表



③ リトミック教室



④ ダンス（ブラジルで有名な子ども向けの音楽に合わせた身体活動）



⑤ 太鼓づくり（ミルク缶を使った太鼓づくりと演奏）



⑥ アンケート記入

■アンケート配布

■運営事業者による巡回・フォロー

⑦ 閉会

■記念撮影（保護者同意の上）

■アンケート回収

#### 4. アンケート結果

### 🌸 保護者（ほごしゃ）むけ アンケート（集計結果）

#### 【1】あなたのことを おしえてください

- ・どこに すんでいますか？（市（し）・町（まち）・村（むら）など）  
（回答）南アルプス市：11 甲斐市：2 中央市：1 市川三郷町：1
- ・お子（こ）さんは なんさいですか？  
（回答）1歳：5 2歳：5 4歳：5 5歳：3 6歳：1 8歳：1 9歳：1 10歳：1
- ・おうちで つかっている ことばは なんですか？（いくつでも えらんでください）  
（回答）日本語：10 ポルトガル語：4

#### 【2】交流会（こうりゅうかい）について

- ・交流会（こうりゅうかい）は たのしかったですか？  
（回答）とても たのしかったです：10 たのしかったです：4
- ・ほかの おやの かたと はなすことが できましたか？  
（回答）すこし はなせました：9 あまり はなせませんでした：4 はなせませんでした：1
- ・お子（こ）さんは たのしんでいましたか？  
（回答）はい：14
- ・外国（がいこく）の ぶんかを しる いい きかいでしたか？  
（回答）はい：14
- ・おもしろかった あそびが あれば おしえてください。  
（回答）リトミック：6 太鼓作り・演奏：4
- ・ほいくえんや こどもえんで、外国（がいこく）の あそびや ぶんかを つかってほしいと おもいますか？  
（回答）はい：12
- ・また、このような 交流会（こうりゅうかい）に さんかしたいですか？  
（回答）はい：14

#### 【3】相談会（そうだんかい）について

- ・こまっていることを はなすことが できましたか？  
（回答）はい：4 いいえ：5
- ・ほかの おやの かたと はなして よかったですか？  
（回答）はい：10
- ・また 相談会（そうだんかい）が あれば さんかしたいですか？  
（回答）はい：7

#### 【4】困（こま）っていること、助（たす）かっていることについて

- ・ひごろ、園（えん）についてこまっていることがあれば、おしえてください。  
（回答）※回答なし
- ・ひごろ、園（えん）のとりくみやたいおうで、たすかっていることがあれば、おしえてください。  
（回答）支援センターで話ができること／水を大切にすること心／食べ物を大事にする心

## 保育士・園関係者向けアンケート（集計結果）

### 【1】基本情報

- ・ご担当された役割をお知らせください（例：進行役、相談対応など）。  
（回答）進行役：1 サポート役：3
- ・保育士としてのご経験年数をお知らせください。  
（回答）5年：1 10年以上：1

### 【2】交流会について

- ・交流会は円滑に行えましたか？  
（回答）非常に円滑だった：3 おおむね円滑だった：1
- ・実施した内容は、貴園独自でも再現可能だと思いますか？  
（回答）実施できると思う：3
- ・参加者の反応は良好でしたか？  
（回答）はい：4
- ・実施に当たり、負担を感じましたか？  
（回答）まったく感じなかった：3 少し感じた：1
- ・他の園でも同様の交流会を実施できる内容だと思いますか？  
（回答）実施できると思う：6 一部なら実施できると思う：4
- ・印象に残った活動や工夫があればご記入ください（自由記述）。  
（回答）※回答なし

### 【3】相談会について

- ・外国人保護者の相談内容は理解しやすかったですか？  
（回答）理解しやすかった：3 普通だった：1
- ・相談形式は効果的だと感じましたか？  
（回答）とても効果的だった：4
- ・専門機関への紹介が必要と感じたケースはありましたか？  
（回答）はい：1 いいえ：2
- ・保護者の満足度は高かったと感じましたか？  
（回答）はい：4

### 【4】今後について

- ・今後、園で外国の遊びや文化などを取り入れた保育活動を実施したいと思いますか？  
（回答）はい：4

### 【5】日頃の園の状況について

- ・園では、外国にルーツを持つ子どもや保護者への対応に課題を感じていますか？  
（回答）大きな課題があると感じている：2 特に課題は感じていない：2
- ・多文化や国際理解に関する研修等の機会があれば、参加したいと思いますか？  
（回答）※回答なし

### 【6】その他、自治体に望む支援や取り組みなど、何かあれば自由に記入してください。

- （回答）※回答なし

## 5. 振り返り

参加者：園児 33 名（あんふあんワールド：19 名 イノヴェ学園：14 名）※保護者等含め合計 70 名程度

今回の第 2 回目の交流会・相談会は、全体として非常にリラックスした明るい雰囲気の中で行われ、音楽の力によって自然と場がひとつになっていく様子が印象的であった。言葉を多く使わなくとも、音楽のリズムに合わせて身体を動かすだけで、子どもたちや保護者の気持ちが一気に近づき、会場全体に温かい一体感が生まれた。子どもたちはリトミックの中で、手をつなぐ、ペアをつくるなどの活動を通して、国籍に関わらず多くの友達と関わろうとする姿が見られた。最初は恥ずかしがる様子の子もいたが、保護者と一緒に参加することで徐々に気持ちがほぐれ、笑顔で活動に取り組む姿が見られた。音楽には、初めて会う相手とも自然につながる力があることを改めて実感した。

施設関係者は強い人脈を持ち、人を惹きつけ、周囲を明るく前向きな気持ちにさせる力があり、その存在がイベント全体の雰囲気を大きく支えていた。また、リトミック講師の長年の経験に基づく指導は、会場にいたすべての年齢層の子どもたちに届き、音楽を通して誰もが参加しやすい空間をつくり出していた。

イノヴェ学園の子どもたちによる発表も非常に感動的であった。保護者が温かく応援する中、子どもたちが緊張や恥ずかしさを乗り越え、堂々と前に立つ姿は、大きな成長の瞬間であり、多くの参加者が心を動かされていた。保護者同士の交流も活発で、特に食べ物を通じたコミュニケーションが自然に広がっていた。多様な国籍の人々が、それぞれ自分の言語で会話しながらも、お互いに興味を持ち、質問をし、笑顔で交流する姿が印象的であった。会場には日本語、ポルトガル語、英語など複数の言語が飛び交い、多文化が自然に混ざり合う豊かな時間となった。子どもたちもまた、国籍に関係なく相手を誘い合い、一緒に遊ぼうとする姿を見せていた。互いに言葉が通じるかどうかを心配することなく、「一緒に楽しみたい」という気持ちを優先し、その純粋さが場をより温かく、優しいものにしていった。

終了後、多くの保護者や家族から「参加してよかった」「とても楽しかった」「また参加したい」という声が寄せられ、自然で軽やかな交流が生まれた一日となったことが伺えた。多文化が溶け合い、互いを理解し尊重しながら共に楽しむ機会が、このように豊かな形で実現したことは大きな意義がある。

今回の経験を通して、文化の違いを超えて協力し合い、子どもたちの未来のために手を取り合っていく可能性を強く感じた。今後も、こうした多文化共生の取り組みを継続し、地域全体がより良い環境へと進んでいくことを期待したい。

### ★記念写真



## ◎ 交流会・相談会③ 市川幼稚園（令和7年11月8日実施）

### 1. 事前準備の流れ

#### ① 企画立案（打合せ）

日付	出席者	内容
2025.7.2	県職員1名 園職員1名 ※電話	■県から園に対して主旨を説明 ■主旨説明の上、概ね実施の方向性で合意、訪問予定を確認
2025.7.23	県職員1名 園職員2名 運営事業者1名	■日程は、11月8日（土）で決定 ■主な対象は、2・3歳児にすることとした ■外国人親子が在籍する他園と連携し、15組の参加を目標とすることとした
2025.9.5	園職員10名 運営事業者2名	■運営事業者から園職員に対して外国にルーツを持つ子どもの受け入れに関する説明・質疑応答を実施
2025.10.6	園職員1名 運営事業者1名	■運営事業者から園職員に対して1回目・2回目の交流会・相談会に係る内容、当日の流れを説明
2025.10.27	園職員1名 運営事業者1名	■当日に向けた最終確認を実施 ■当日は園児12名・連携園の園児14名が参加予定である旨確認

#### ② 関係者調整

- 外国人支援団体・他園との連携：小規模保育園みんなのいばしょ（中央市）との連携
- 役割分担：各園で発表内容を検討・準備

#### ③ 参加者募集・案内

- 親子への呼びかけ：概要チラシをもとに保護者へ案内

#### ④ 資材準備

- 交流会に係る工作材料：市川幼稚園で準備
- 音楽機材（マイク等）：市川幼稚園で準備
- 交流会に必要な机：市川幼稚園で準備

### 2. 当日の企画概要

9時00分	：関係者集合
9時30分～ 9時55分	：はじめのあいさつ、礼拝
9時55分～ 10時30分	：いっしょにあそぼう（あなたのおなまえは？、バルーンあそび、えほんのよみきかせ、てづくりがっきづくり、てづくりがっきあそび）
10時30分～ 10時45分	：てあそびうた（ブラジルのうた）
10時45分～ 10時55分	：えほん（おおきなカブ）をつかっていたのしもう
10時55分～ 11時00分	：チュツチュワードンス、あつあつイモゲーム
11時00分～ 11時10分	：わになってボールであそぼう
11時10分～ 11時30分	：日本人親子・外国人親子の交流会、アンケート記入
11時30分	：終了

### 3. 当日の流れ

① 開会式（やさしい日本語+通訳）

② 朝の会（自己紹介）※ 輪になり、時計回りで発表



③ てづくりがっきづくり、てづくりがっきあそび



④ えほんのよみきかせ、えほん（おおきなカブ）をつかったのしもう



⑤ バルーンあそび



⑥ チュッチュアダンス、あつあつイモゲーム



⑦ 日本人親子・外国人親子の交流会



⑧ アンケート記入

■アンケート配布

■運営事業者による巡回・フォロー

⑨ 閉会

■記念撮影（保護者同意の上）

■アンケート回収

#### 4. アンケート結果

##### 🌸 保護者（ほごしゃ）むけ アンケート（集計結果）

#### 【1】あなたのことを おしえてください

- ・どこに すんでいますか？（市（し）・町（まち）・村（むら）など）  
（回答）中央市：11 市川三郷町：10 甲斐市：3 南アルプス市：1
- ・お子（こ）さんは なんさいですか？  
（回答）2歳：6 3歳：4 4歳：2 5歳：4 6歳：3 8歳：3 9歳：1 10歳：2
- ・おうちで つかっている ことばは なんですか？（いくつでも えらんでください）  
（回答）日本語：18 ポルトガル語：10 英語：3 スペイン語：2

#### 【2】交流会（こうりゅうかい）について

- ・交流会（こうりゅうかい）は たのしかったですか？  
（回答）とても たのしかったです：14 たのしかったです：2
- ・ほかの おやの かたと はなすことが できましたか？  
（回答）よく はなせました：5 すこし はなせました：9 あまり はなせませんでした：1  
はなせませんでした：1
- ・お子（こ）さんは たのしんでいましたか？  
（回答）はい：16
- ・外国（がいこく）の ぶんかを しる いい きかいでしたか？  
（回答）はい：16
- ・おもしろかった あそびが あれば おしえてください。  
（回答）おおきなカブ：4 ボールあそび：4 ダンス：2 えほん：1 全部：1
- ・ほいくえんや こどもえんで、外国（がいこく）の あそびや ぶんかを つかってほしいと おもいますか？  
（回答）はい：15 よくわかりません：1
- ・また、このような 交流会（こうりゅうかい）に さんかしたいですか？  
（回答）はい：15 いいえ：1

#### 【3】相談会（そうだんかい）について

- ・こまっていることを はなすことが できましたか？  
（回答）はい：6 いいえ：7
- ・ほかの おやの かたと はなして よかったですか？  
（回答）はい：15
- ・また 相談会（そうだんかい）が あれば さんかしたいですか？  
（回答）はい：14 いいえ：2

#### 【4】困（こま）っていること、助（たす）かっていることについて

- ・ひごろ、園（えん）についてこまっていることがあれば、おしえてください。  
（回答）※回答なし
- ・ひごろ、園（えん）のとりくみやたいおうで、たすかっていることがあれば、おしえてください。  
（回答）※回答なし

## 保育士・園関係者向けアンケート（集計結果）

### 【1】基本情報

- ・ご担当された役割をお知らせください（例：進行役、相談対応など）。  
（回答）進行役：1 絵本読み聞かせ：1 ピアノ：1 サポート役：2
- ・保育士としてのご経験年数をお知らせください。  
（回答）保育士 1年：1 9年：1 17年：1 22年：1 24年：1  
子育て支援員 1年：4 7年：1 9年：1 11年：1

### 【2】交流会について

- ・交流会は円滑に行えましたか？  
（回答）非常に円滑だった：7 おおむね円滑だった：5
- ・実施した内容は、貴園独自でも再現可能だと思いますか？  
（回答）実施できると思う：8 一部なら実施できると思う：3
- ・参加者の反応は良好でしたか？  
（回答）はい：12
- ・実施に当たり、負担を感じましたか？  
（回答）まったく感じなかった：11 少し感じた：1
- ・他の園でも同様の交流会を実施できる内容だと思いますか？  
（回答）実施できると思う：7 一部なら実施できると思う：2 わからない：2
- ・印象に残った活動や工夫があればご記入ください（自由記述）。  
（回答）蝶々の遊び／大きなカブ／手遊び／先生方の明るさ／試食／  
言葉を引き出すような投げかけ／両園の集まりの活動が見られて良かった／風船遊び

### 【3】相談会について ※回答なし

- ・外国人保護者の相談内容は理解しやすかったですか？
- ・相談形式は効果的だと感じましたか？
- ・専門機関への紹介が必要と感じたケースはありましたか？
- ・保護者の満足度は高かったと感じましたか？

### 【4】今後について

- ・今後、園で外国の遊びや文化などを取り入れた保育活動を実施したいと思いますか？  
（回答）はい：12

### 【5】日頃の園の状況について

- ・園では、外国にルーツを持つ子どもや保護者への対応に課題を感じていますか？  
（回答）大きな課題があると感じている：1 一部に課題があると感じている：8  
言葉・伝え方／習慣等の相互理解／言葉の壁／通じているが難しさも感じる時もある  
お便り／行事・持ち物が伝わりづらいところ／言葉のやり取りが難しく感じることもある
- ・多文化や国際理解に関する研修等の機会があれば、参加したいと思いますか？  
（回答）はい：9 わからない：2

### 【6】この他、自治体に望む支援や取り組みなど、何かあれば自由に記入してください。

- （回答）ママたちが気楽に行けて話ができてリラックスできる居場所／  
多文化交流・国際理解・事例検討等が保育者と一緒に話し合える機会

## 5. 振り返り

参加者：園児 25 名（市川幼稚園：10 名 みんなのいばしょ：15 名）※保護者等含め合計 63 名

全体を通して、今回の交流会・相談会は非常に良い雰囲気で行われ、園職員自身も楽しみながら「外国人保護者との交流がどのように進むのか」に興味深く見守る姿が見られた。

各場面において、子どもたちはとても積極的に参加し、言語が異なっても自分なりの方法でコミュニケーションを取ろうとする姿が印象的であった。活動が楽しかったため、終了後に子どもたちがなかなか帰りがたらない様子も見られ、心から楽しんでいたことがうかがえた。

特に印象に残った点として、国籍にかかわらず、すべての保護者が「子どものために」「子どもと一緒に楽しい時間をつくりたい」という思いで参加していたことである。日本人の多い園と外国人の多い園で行われている活動には共通点が多く、文化が異なっても子育ての根底にある思いは同じであることを再確認できた。

巨大なバルーン遊びでは、保護者が自分の子どもたちの楽しむ姿を温かく見守り、日本人・外国人が混ざり合い、一つのリズムや動きだけで自然に協力し合う様子が見られた。多くの言葉を必要とせずとも、共に楽しむことができることを体験できた場面である。

交流の時間には、ブラジルの食べ物を味わいながら、保護者同士の会話も自然と広がった。子どもたちが「おうちでも作ってほしい」と保護者をお願いする姿も見られ、食を通して理解と関心が一層深まった。

今回の交流を通じて、好み、遊び方、表情、優しさ、思いやりといったものは国籍を超えて共通しており、どれも“心”から生まれるものであることを改めて実感した。また、お互いを理解し、愛し、支え合うことで、子どもたちのより良い未来を共につくっていけるという確信も得られた。こうした取り組みを通して、多文化が自然に溶け合い、次世代の子どもたちにとって豊かな環境が当たり前となるよう、今後も継続して取り組んでいく必要がある。

### ★記念写真

